

設立40周年記念特別号

公益財団法人滋賀県国際協会は、1979年(昭和54年)7月19日に財団法人滋賀県国際友好親善協会として設立され、皆様のご理解ご支援ご協力の下、今年度で設立40周年を迎えることができました。

人と人をむすぶ、
人と世界をむすぶ



今回のSIA(しーあ)は記念特別号として、昨年11月に開催しました設立40周年記念式典のようすをお伝えするとともに、当協会がこれまで歩んできた40年について、振り返っていきます。

設立40周年記念式典会場のようす



滋賀国際交流賞受賞者のみなさま



▶ SIA114号 Contents

1 2 3

設立40周年記念事業報告

会長あいさつ・知事祝辞
40周年記念式典のようす

4 5

滋賀国際交流賞受賞者のご紹介

国際交流功労賞
国際交流奨励賞・国際交流特別賞

6 7

SIAが歩んだ40年

1979年～2019年のあゆみ

8 SIA NEWS

- ① ボランティア活動報告
- ② 2019年度国際教育ワークショップ報告
- ③ 湖南・甲賀防災イベント報告
- ④ 新JICA滋賀デスク紹介



設立40周年記念特別号

設立40周年記念事業報告

ごあいさつ

公益財団法人
滋賀県国際協会 会長
橋 本 和 正



平素は当協会の事業運営に、格別の御支援、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、昨年11月30日に開催しました当協会設立40周年記念式典には多数の皆様に御出席を賜り、おかげ様をもちまして、盛況の内に終了しましたことを深く感謝しております。

日本人にとって、海外や外国人がまだまだ遠い存在であった40年前に当協会は設立され、海外留学生や技術研修員の受入れ、海外にある滋賀県人会の育成事業をはじめ、滋賀県の姉妹友好州省との民間交流推進のために尽力して参りました。

一方、1990年の出入国管理及び難民認定法の改正を機に、日系南米人が急増するなど、外国人住民への対応が全国的な課題となりました。これを受け、当協会においても1993年に外国人相談窓口を設置し、主に南米出身の方々などの相談対応ができる体制を整えました。

さらに、昨年4月に改正入管法が施行されたことに伴い、新たな外国人、特に東南アジア圏からの住民の相談にも幅広く対応できるよう体制を整え、協会事務所内に「しが外国人相談センター」を開設したところです。

滋賀県にお住まいの外国籍の方は、ますます増加し、出身国も多様化している状況の下、当協会では「国際感覚に優れた人づくり」「多文化共生の地域づくり」「国際交流・国際協力、多文化共生の活動が活発になる環境づくり」を目指し、日本人と外国人がそれぞれの多様性を認め合いながら、いきいきと暮らせる環境づくりや、その土台となる国際感覚に優れた人材を育成するための事業を推進しております。

当協会は、公益法人として、また地域国際化協会として適切な役割を果たすため、より一層の研鑽を重ねて活動していく所存です。

今後とも当協会の活動への皆様の御理解御協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

ご祝辞

滋賀県知事
三日月 大造



公益財団法人滋賀県国際協会が設立40周年を迎られましたことを心よりお喜び申し上げます。

昭和54年(1979年)の設立以来、貴協会の皆様方には本県の国際交流活動や多文化共生社会づくりの中核的組織として、刻々と変化する社会情勢に対応し、多岐にわたる業務に日々御尽力いただいていることに対し、深く敬意を表します。また、貴会の活動をサポートされている会員の皆様にも心より感謝申し上げます。

姉妹友好州省との交流に目を向けてみると、平成30年(2018年)にはアメリカ・ミシガン州との姉妹提携締結50周年、中国・湖南省との35周年を迎えることができ、さらに今年令和2年(2020年)にはブラジルのリオ・グランデ・ド・スール州との姉妹提携40周年が控えており、このように盛大に姉妹友好州省との周年行事が開催できるのも、ひとえに貴協会の皆様が国際交流推進の機運を盛り上げていただいている賜物と感謝申し上げます。

また、一人ひとりの多様性を認め、誰もが暮らしやすい多文化共生社会づくりの推進がこれまで以上に求められている今、貴会の皆様にはその経験やノウハウを生かして「しが外国人相談センター」を運営し、幅広い分野の生活相談に対応するなど、外国人の方々に寄り添った対応をしていただいていることに重ねて感謝申し上げます。

県内にお住まいの外国人人口は6年連続で増加を続け、令和元年(2019年)12月末現在で過去最高の108か国1地域から32,995人となり、多国籍化がますます進んでいます。多様な人々の違いを認め合い、誰もがその人らしく活躍できる多文化共生の地域づくりを皆様とともににより一層推進していきたいと思いますので、引き続きお力添えのほどよろしくお願ひいたします。

結びに、貴協会ならびに会員の皆様のますますの御活躍、御健勝をお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

40周年記念式典のようす

日 時 令和元年(2019年)11月30日(土) 会 場 ピアザ淡海3階 大会議室
参加者 173人(内訳:受賞者12人、招待者52人、会員・一般93人、報道1人、他15人)

第1部 記念式典

第1部では、当協会橋本会長のあいさつに始まり、来賓を代表して由布滋賀県副知事ならびに生田滋賀県議会議長よりご祝辞を賜りました。



▲橋本和正 当協会会長



▲由布和嘉子 滋賀県副知事



▲生田邦夫 滋賀県議会議長

滋賀国際交流賞表彰



続いて、「滋賀国際交流賞」授賞式を執り行いました。本賞は、滋賀県における国際交流・国際協力の推進、多文化共生の地域づくりに多大な貢献のあった方々を表彰するものです。

(本賞および受賞者の詳細については次ページに掲載しています)

◀滋賀国際交流賞授賞式のようす



第2部 講演会

第2部では、国際ジャーナリストであるモーリー・ロバートソン氏による基調講演を行いました。「オモテナシからオトモダチへ」と題し、自らが幼少期から学生時代に日本とアメリカで経験したことから、最近の世界情勢に至るまで、国際交流や多文化共生にまつわる内容を独自の視点から紐解いてお話しいただきました。また、世界の中における滋賀県の今後のあり方についてもご提案いただき、非常に中身の濃い盛りだくさんの講演内容でした。



▶ユーモアを交えながら、分かりやすく楽しく講演するモーリー・ロバートソン氏



また、会場の入口付近には、当協会の40周年を振り返る掲示を行いました。ご覧いただいた参加者からは、「こういうこともあったなあ。」と当時の活動を懐かしむ声も聞かれました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



◀会場前に掲示した40年の歴史

滋賀国際交流賞

滋賀県国際協会は設立40周年を迎え、これを記念して「滋賀国際交流賞」を設置しました。

この賞は、滋賀県における国際交流・国際協力の推進、多文化共生の地域づくりに多大な貢献のあった方々を表彰することにより、世界に開かれた地域づくりのより一層の推進を図ることを目的としています。

滋賀国際交流功労賞

国際交流・国際協力の推進、多文化共生の地域づくりの活動に永年従事し、滋賀県のこれらの分野の発展に多大の貢献をし、その功績が顕著である個人または団体に贈られる。

滋賀国際交流奨励賞

国際交流・国際協力の推進、多文化共生の地域づくりの活動に従事し、その功績が著しく、今後も滋賀県のこれらの分野の活動に従事し、その発展に貢献することが期待される個人または団体に贈られる。

滋賀国際交流特別賞

公益財団法人滋賀県国際協会の事業推進に永年寄与し、その功績が特に顕著で感謝するに足りると認められる個人または団体に贈られる。

受賞者のご紹介（敬称略）

滋賀国際交流功労賞

八日市日本語教室【1997年設立】

1997年の開設以降、長きにわたって日本語教室を無償で実施している。現在は42名のボランティアが週3回の教室を開講。日本語だけでなく日本で生活する上のルールや暮らし方、日本人との付き合い方なども指導し、外国人住民の共生に向けた地道な活動を続けている。

また、週2回小中学校への出前講座を行い、外国にルーツを持つ子どもたちの「日本での生活」や「ライフステージ」に寄り添った活動を続けている。



多文化共生支援センター（SHIPS）【2008年設立】



外国人住民が地域において安心して生活を送ることができるよう、生活上の様々な課題に関して総合的な支援を行うことにより、多文化共生社会の実現に寄与する目的で設立。日本語教室の開催、「しが外籍住民ネットワーク」や「NPO法人外籍住民自立就労協会」（2018年3月終了）を設立した。

また、国や県からの受託事業として、学習支援を実施する「虹のかけはし教室」の運営や「外国人介護人材育成事業」の日本語研修を実施した。近年は多文化子ども食堂を実施するなど、外国人住民に寄り添った活動は多岐にわたっている。

馬渕 純子（まぶち ひろこ）

長浜市とドイツ・アウグスブルク市姉妹都市提携10周年をきっかけに、1969年から使節団や旅行者の受け入れを開始した。2006年にアウグスブルク独日協会長浜事務局を立ち上げ、両市の仲介役として尽力した。それらの功績が称えられ、2009年に日本人で初めてアウグスブルク市政功労者表彰を、その後2016年に長浜市功労者表彰を受賞した。

また、1989年には、有志5人により長浜市国際交流協会を立ち上げ、設立25周年まで理事および副会長として、同市の国際交流の推進に大きく貢献した。



滋賀国際交流奨励賞

日和(ひより)【2006年設立】

学習支援ボランティア団体である「日和」は、現役の大学生が中心となって外国にルーツを持つ子どもの学習支援を実施している。日本語が十分でない保護者に代わり、子どもたちの宿題や高校受験等の学習支援に取り組んでいる。さらに、外国籍の保護者が抱く生活や教育の相談にも母語で応じ、その家族全体を支援している。

また、同内容の支援団体としては唯一の学生主体の団体であり、これから多文化共生社会を築く人材育成という面からも大きな役割を果たしており、今後のさらなる活躍が期待される。



中田 ケンコ(なかた けんこ)

自分が開設したサンタナ学園(1998年～)では、主にブラジル人労働者の子ども(幼児から高校生まで)の保育、教育を実施している。親の就労形態に合わせ、校長を務める自らが、早朝よりバスで子どもたちの送迎を行い、食事の準備や具合が悪い子の病院受診に付き添うなど、献身的に子どもたちを支えている。また、家庭のサポートや医療、労働、在留資格等の相談にも対応している。学園の経営が厳しい中でも、県内の外国人コミュニティを長年にわたり支えるなど、今後もその貢献が期待される。



(公社)滋賀県放射線技師会【1950年設立】



ベトナム戦争の最中、当会会員がOTCA(現JICA)の事業にて現地で医療技術協力活動に携わったことに端を発し、その後2期にわたるJICA草の根技術協力事業に参画。ベトナム人医療技術者との交流や研修受入れ、現地での医療技術支援活動に尽力してきた。

その後、現地での放射線技師団体の設立支援や、学術協定の締結、市民フォーラムでの講演や学会発表など、活動の幅を更に広げており、国際協力や国際交流への今後の更なる貢献が期待される。

滋賀国際交流特別賞

国際教育研究会 Glocal net Shiga【2003年設立】



「多様性の尊重」「多文化共生社会づくり」「相互依存関係の理解」「公正・平和な社会づくり」をねらいとして国際教育を促進することを目的に設立。教員や元青年海外協力隊員、国際交流協会職員、外国人住民、ボランティア、学生など、多様な人材で構成している。

国際教育について研究を続け、オリジナル教材の開発や出前授業などを通して実践普及に取り組むなど、当協会が目指す「国際感覚に優れた人づくり」の推進に寄与し、また、当協会主催の事業に講師や運営補助として協力するなど、多大な貢献をしている。

SIAが歩んだ40年（1979～2005年）



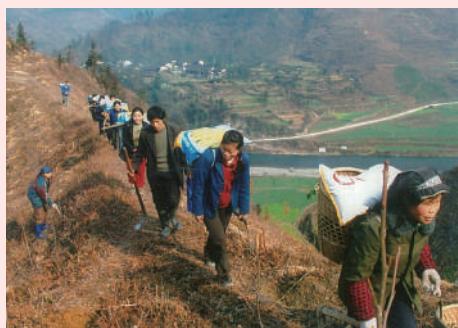
国際交流祭(1998年)



みみタロウフェスタ(1999年)



ミシガン友好親善使節団(1999年)



湖南省植林事業(2004年)



国際理解講演会(2005年)

年度	元号	内 容
1979	昭和54	<ul style="list-style-type: none"> ・海外留学生・技術研修員受入事業、海外県人会育成事業開始 ・財団法人滋賀県国際友好親善協会設立 ・使節団受入・派遣、国際親善普及事業開始
1980	昭和55	<ul style="list-style-type: none"> ・ブラジル リオ・グランデ・ド・スール州姉妹提携調印 ・第3回滋賀県ミシガン州友好親善使節団派遣（以後、毎年派遣・受入を交互に実施）
1982	昭和57	<ul style="list-style-type: none"> ・中国・湖南省技術研修生受入事業開始（～'04年。'05年から滋賀県海外技術研修員に統合）
1983	昭和58	<ul style="list-style-type: none"> ・湖南省友好県省協定調印 ・国際親善協力員育成事業開始（'07年にSIAボランティアに名称変更～現在）
1984	昭和59	<ul style="list-style-type: none"> ・びわ湖国際交流の集い開催（'92年からびわこ国際交流クルージングとして開催）（～'07年）
1986	昭和61	<ul style="list-style-type: none"> ・湖南の旅友好訪中団派遣事業開始 ・シガインターナショナルハウス竣工（管理受託～'05年）
1989	平成1	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人留学生びわこ奨学金支給事業開始
1990	平成2	<ul style="list-style-type: none"> ・地域国際化協会に認定（旧自治省より） ・協会設立10周年記念事業開催 ・ミシガン州立大学連合日本センター（JCMU）内に彦根事務所開設
1991	平成3	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流活動助成制度（～'02年） ・滋賀県国際交流団体連絡協議会設立（～'97年）（'98年より滋賀県国際交流推進協議会へ移行） ・ボランティア日本語指導者セミナー開催 ・国際交流祭（於：ミシガン州立大学連合日本センター）開始
1993	平成5	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人相談窓口の設置 ・滋賀県国際交流協会等連絡協議会（SILC）の設立（～'97年）（'98年より滋賀県国際交流推進協議会へ移行）
1994	平成6	<ul style="list-style-type: none"> ・協会設立15周年記念「中国湖南の友好使節団」派遣
1995	平成7	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアによる在住外国人向け生活情報紙「みみタロウ」（7言語）発行開始
1996	平成8	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの開設
1998	平成10	<ul style="list-style-type: none"> ・滋賀県国際交流推進協議会設立 ・自治体職員協力交流研修員の受入開始（～'05年） ・湖南省友好協定締結15周年記念事業 ・ミシガン州姉妹提携30周年記念事業
1999	平成11	<ul style="list-style-type: none"> ・名称を「財団法人滋賀県国際協会」と改め、ピアザ淡海2階へ事務所移転、国際情報サロンを設置 ・渡航支援事業およびパスポート用写真撮影事業の開始 ・協会設立20周年記念事業開催
2001	平成13	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページのリニューアル（7言語による情報提供の開始）
2002	平成14	<ul style="list-style-type: none"> ・国際教育協働推進事業の開始 ・外国人住民支援ネットワーク推進事業の開始（外国人住民暮らしの相談会（～'04年）、'04年から進路ガイダンス事業）
2003	平成15	<ul style="list-style-type: none"> ・（独）国際協力機構（JICA）国際協力推進員（JICA滋賀デスク）の設置開始 ・国際教育研究会 Glocal net Shiga 発足（事務局の運営開始） ・日本語学習支援活動助成事業の開始（'08年から外国人児童生徒就学・学習支援活動も対象に拡充）（～'14年） ・湖南省吉首市にて日中緑化交流基金助成による植林事業の開始（～'09年）
2004	平成16	<ul style="list-style-type: none"> ・国際教育オリジナル教材の開発および講師養成の開始
2005	平成17	<ul style="list-style-type: none"> ・中期計画の策定および承認（～'09年） ・外国にルーツを持つ子どもと保護者のための「進路ガイダンス」開始（'17年より「進路フェア」に統合）

※協会設立～2009年の30年間は簡略して掲載しています。

詳細な「協会のあゆみ」はホームページ「協会について」→「ディスクロージャー」のページに掲載しています。

SIAが歩んだ40年（2007～2019年）

年度	元号	内 容
2007	平成19	<ul style="list-style-type: none"> 「留学生びわこ奨学金支給事業」を「外国籍学生びわこ奨学金支給事業」とし、対象者を拡大 「災害時における外国人支援ネットワークに関する協定書」(近畿地域国際化協会連絡協議会)の締結
2008	平成20	<ul style="list-style-type: none"> 災害時外国人サポーター登録制度の創設 多文化子ども広場の開催（～'10年）
2009	平成21	<ul style="list-style-type: none"> 多文化共生学校づくり支援サイトの開設 協会設立30周年記念事業を開催
2010	平成22	<ul style="list-style-type: none"> 新中期計画策定 国際教育教材体験フェア開催（～現在） 在日フィリピン人実態調査の実施および報告書の発行 オリジナル国際教育教材「言葉がわからない体験ゲーム『何が起こった？(震災編)』」の発行 多言語非常持出袋普及のためのWebサイト開設 東日本大震災への支援(東北地方太平洋沖地震多言語支援センター【於:全国市町村国際文化研修所内】への応援実施(3月))
2011	平成23	<ul style="list-style-type: none"> 滋賀県知事の認定により公益財団法人に移行 第1期中期計画の策定 東日本大震災への支援(仙台市災害多言語センターへの応援実施)（4月） 海外経験を持つ方対象の伝え方講座開催（～'12年） 裾野を広げる国際交流事業「JCMU留学生といっしょに親子ハイキング」開始（～'17年） 外国にルーツを持つ子どもの「日本語学習リソースコーナー」設置 防災から広げる共生のまちづくり事業開始 「滋賀で活躍する外国人」データーベース化開始
2012	平成24	<ul style="list-style-type: none"> 裾野を広げる国際交流事業「ぐろーかる・カフェ」(県主催「しが☆まなび発見」事業との連携)開始（～'15年） 外国にルーツを持つ高校生へのキャリアデザイン研修開始（～'17より「進路フェア」に統合） 外国人防災および救急対応についての普及啓発事業実施(啓発グッズ「緊急時の心得」手拭い作成) SIA活動ブログ開設（～'14）
2013	平成25	<ul style="list-style-type: none"> 裾野を広げる国際交流事業「子ども向け体験プログラム」(びわこホール主催「ラ・フォル・ジュルネ“キッズプログラム”」事業との連携)開始（～'17年） 「外国人アーティスト展」開始（～現在） Facebookによる情報提供開始（1月～）
2014	平成26	<ul style="list-style-type: none"> 国際教育研究事業「様々な宗教を学ぶスタディツアーアin 神戸」の実施 オリジナル国際教育教材「カルタ わたしん家の食事から」を改訂し、カードゲーム版を発行
2015	平成27	<ul style="list-style-type: none"> 湖南省友好県省青少年連携事業 高校生交流団の派遣事業の実施 外国人相談窓口に新たにタガログ語(英語)の通訳員を配置 外国人向け情報紙「みみタロウ」タガログ語版発行開始(7言語から8言語へ)
2016	平成28	<ul style="list-style-type: none"> 第2期中期計画の策定
2017	平成29	<ul style="list-style-type: none"> 外国人にルーツを持つ児童生徒のための「進路フェア」開催（～現在） ホームページリニューアル(スマートフォン閲覧対応開始) ミシガン州姉妹提携50周年記念事業開催(於:滋賀県)
2018	平成30	<ul style="list-style-type: none"> ミシガン州姉妹提携50周年記念事業開催(於:ミシガン州) 湖南省友好提携35周年記念事業開催
2019	平成31 (令和1)	<ul style="list-style-type: none"> 外国人相談窓口を拡充し、名称を「しが外国人相談センター」に改称。ベトナム語、インドネシア語の相談員を配置 外国人向け情報紙「みみタロウ」ベトナム語版およびインドネシア語版発行開始(8言語から10言語) ホームページリニューアル(11言語対応開始) 協会設立40周年記念事業開催



News

1

2019年度 SIAボランティア活動報告 ボランティアの皆さんありがとうございました!

当協会登録の『SIAボランティア』は、国際交流支援、ホームステイ・ホームビギット受入れ、通訳・翻訳の分野で多くの方にご登録いただいている。国際交流に関するイベントや活動に関して、ボランティア募集の情報もお待ちしております。(但し、営利活動に伴うものは除きます。)

【今年度の主な活動実績】

●国際交流支援

職業人と語る会 運営補助	6人
多文化共生フェスタ in あづち 運営補助	5人

●ホストファミリー

立命館守山高校 留学生ホームステイ受入	1人
---------------------	----

●通訳・翻訳

大阪マラソン大会 通訳ボランティア	2人
近畿ブロック合同青少年赤十字国際交流事業 マレーシア高校生受入 英語通訳	1人
SIAホームページ 韓国語翻訳	1人

News

2

2019年度国際教育ワークショップ 「日本で“外国人”になるということ ～多文化共生社会を考える～」事業報告



▲首振りドラゴンを使って錯視を説明

講師の山中さんより、「今の日本は本当に多様性が認められる社会となっているのかを考えなくてはならない」とし、「人口減少の状況の中、政府は移民政策を“とらない”と言っているが、今後どのように政策として考えなければならないかは、私たち自身の見方や考え方、ステレオタイプについても見つめなおす必要がある」と指摘されました。また、「在留資格『技能実習』の人は家族を呼び寄せられないが、世界人権宣言には『家族が共に暮らす』ことは権利として認められている。そして、『特定技能2号』にな

る」と家族を呼び寄せられる。そうなると彼らはもはや『移民』なのではないかと思うが、日本社会の仕組みでは、『人材としては受け入れるが、人としては受け入れない』というのがあるのかもしれない」と問題提起されました。

ワークショップ「BIN君に何が起こったか?」で、難民として暮らす家族が抱える課題の解決策を考えた後、ヨーロッパで難民受け入れへの拒否感が蔓延する風潮に一石を投じた絵本「島 よくある話」を読み聞かせてくださいました。

<絵本紹介>「島 よくある物語」アルミニ・グレーダー(著), 畔上 司(翻訳)飛鳥新社(2015)

News

3

滋賀県内で初めて、県と2市・協会合同の災害時外国人支援研修を開催しました。

日 時 2020年2月22日(土) 10:00~16:00
10:00~16:00 講義・事例紹介・災害多言語支援センター設置運営訓練
11:30~15:00 外国人向け防災教室(同時開催)

会 場 湖南市三雲まちづくりセンター 参加者 73人(多言語支援センター訓練51人、外国人防災教室22人)

講 師 (一財)自治体国際化協会 地域アドバイザー 高橋伸行さん

事例発表 甲賀市国際交流協会 事務局長 大河原佳子さん、理事 上原ジャンカルロさん

主 催 滋賀県、甲賀市、湖南市、(公財)滋賀県国際協会、甲賀市国際交流協会、湖南市国際協会

共 催 近畿地域国際化協会連絡協議会

県内でも外国人住民の割合が高く、生活圏を共にする湖南市と甲賀市を対象に、両市の担当課と国際交流協会、そして県および県国際協会の6者合同による、災害多言語支援センター設置運営訓練を開催しました。

訓練に際し、講師の高橋伸行さんから、「災害時の外国人支援とボランティアに期待される役割」と題してご講演をいただき、センターを拠点とした支援活動の心得について学びました。



また、同時開催の防災教室に参加した外国人の皆さんには、避難所巡回訓練の避難者役としても参加していただいた他、タブレット端末を使った通訳の実証実験(協力:ランゲージワン株式会社)など、盛りだくさんの内容の講座となりました。今回の研修会で出た課題を検証し、県内での支援活動のモデルとして更に活かしていきます。

◀ボランティアや行政、協会職員が参加

News

4

新JICA滋賀デスク紹介 JICA関西 国際協力推進員 (滋賀県担当)

JICA滋賀デスク 桂 武邦さん
[jicadpd-desk-shigaken@jica.go.jp]

はじめまして。昨年11月より滋賀県の国際協力推進員に着任しました桂武邦です。青年海外協力隊として2年間、エチオピアの小学校で理科の実験普及を目的として活動していました。その後モロッコで1年間過ごし、この度生まれ育った滋賀に戻ってまいりました。

久しぶりの故郷の変わらぬ自然の美しさや人の温かさに心和むとともに、様々な分野で活躍する人々との新たな出会いに胸を弾ませています。滋賀県におけるJICAの窓口として県内の人々と開発途上国をつなぎ、社会貢献と地域創生のお手伝いをしていきます。(公財)滋賀県国際協会に配置されていますので、国際協力やSDGsに関して、お気軽にご連絡ください。どうぞよろしくお願ひいたします。



報告

第16回びわこ日本語ネットワーク(BNN) 外国人による日本語スピーチ大会 一つたえよう 私のおもい—

【(公財)滋賀県国際協会協力事業】

開催日 2020年2月16日(日)
出場者 16人
会場 滋賀県立男女共同参画センター
G-netしが(近江八幡市)

- 最優秀賞[知事賞]…スアンウイラット パナワットさん(タイ)
 - 優秀賞[近江八幡市長賞]…ファンドユック クォンさん(ベトナム)
 - 優秀賞[BNN賞]…卓 慧宜さん(台湾)
 - (公財)滋賀県国際協会 会長賞 …アフィディン ザキ サムザミさん(インドネシア)
 - 奨励賞…リ バン ダットさん(ベトナム)
- *(*)内は出身国

受賞者の皆さん、
おめでとうございます!



外国人による日本語スピーチ大会

主催 ひわこ日本語ネットワーク 協力 (公財)滋賀

2020 SPRING



SIAメンバーズ

お店コーナー

ドイツレストラン ヴュルツブルク



春だ!! ドイツだ!! シュパーゲルだ!!
ということで、春の風物語『ホワイトアスパラガス(シュパーゲル)』が入荷しました。冷製・温製2種類のメニューをご用意してお待ちしております。

会員特典 : 5%飲食代金割引(ご本人含む6名様まで)

※クレジットカード・その他割引との併用不可



住所:大津市由美浜5番地
電話:077-526-3500 FAX:077-526-3539
E-mail:wurzburg@mx.biwa.ne.jp
URL:<http://www.biwa.ne.jp/~wurzburg/>
営業時間:ランチタイム 11:00~14:30
ディナータイム 17:00~22:00
(オーダーストップ21:00)
定休日:不定休



ミシガン州立大学連合日本センター

<2020春季英語プログラム受講生募集!!>

[開講期間]

2020年4月7日(火)~6月20日(土)★募集中!!

[教室]

ミシガン州立大学連合日本センター(彦根市松原町)
近江八幡教室(近江八幡市鷹飼町)

[クラス]

・一般コース:初級から上級まで5コース

(1クラス80分高校生以上対象)

・EBC:バイリンガル小中学生クラス(小学生~中学生対象)※

・ESJ:イングリッシュ・ステップスJr.(中学生対象)※

※EBC・ESJは体験レッスンが必須です。ホームページ右上【問合せ】からご予約ください。

※EBCコースは、1年以上海外で生活し、現地の学校に通っていた方、英語を含めた2か国語以上を毎日の使用している家庭で1年以上育った方、または1年以上インターナショナルスクールに通っていた方対象

会員特典:受講料5%OFF

※お申し込み時にSIA会員であることをお申し出ください。

住所:彦根市松原町1435-86

電話:0749-26-3400 FAX:0749-24-9356

URL:<https://www.jcmu.net> E-mail:sifah@mx.bw.dream.jp



アメリカからの留学生との交流や、共同生活などを体験しながら、集中的な英語学習を行える「国内留学プログラム」もあります。詳しいは当センターホームページまで。



トラベルコーナー

会員証を提示いただきますと、割引特典がご利用いただけます。

お申込・お問い合わせの際には滋賀県国際協会の会員であることをお申し出ください。



東武トップツアーズ 滋賀支店

2020年の東京オリンピック・パラリンピックのオフィシャル旅行サービスパートナーとして、大会成功に向け取り組んでおります。

会員特典

- ・国内パッケージツアー
(FEEL)
- ・海外パッケージツアー
(JALPACK)

基本旅行代金の5%割引

基本旅行代金の5%割引

住所:草津市若竹町17-10 KB21 2階
電話:077-565-0109
FAX:077-565-0112
E-mail:
yasutaka_kume@tobutoptours.co.jp
URL:<http://www.tobutoptours.co.jp/>
営業時間:9:00~18:00
定休日:土・日・祝



外輪船 ミシガン



びわ湖の南湖を周遊する、赤いリボルドが目印の外輪船ミシガン。湖国大津の玄関口・大津港の他、びわ湖大津プリンスホテルのあるおの浜観光港やびわ湖大津館のある柳ヶ崎湖畔公園港にも寄港するので、三井寺や石山寺、比叡山などの周辺観光と合わせてお手軽にびわ湖遊覧をお楽しみいただけます。船内では、びわ湖の雄大な景色を望める他、お食事や観光案内、ライブショーなど、充実したクルーズタイムをお過ごしいただけます。

会員特典:ミシガンクルーズ 乗船料10%引

本人含む5名様迄

企画商品・セット商品、指定料などは除く／他割引併用不可

住所:大津市浜大津5丁目1-1

電話:077-524-5000

FAX:077-524-7896 URL:<http://www.biwakokisen.co.jp>

営業時間: 9:00~20:30(シーズンにより異なる) 定休日:無休

SIA会員募集のご案内

県民の皆様の当協会の活動に対する理解と幅広い参加をいただくために会員を募集しております。国際交流や多文化共生地域づくりに関心をお持ちの方のご入会をお待ちしております。

会員特典

- 当協会主催イベント参加費の割引
- 県内外国料理レストラン、琵琶湖汽船、旅行会社等の利用割引、優待等
- 当協会情報誌のお届け
- 県内イベント案内のメルマガ配信
- 国際情報サロン図書等や国旗の貸出サービスあり

ピアザ淡海1階のパスポートセンターで
パスポート申請をされる皆様へ

(公財)滋賀県国際協会では、パスポートを申請される皆さまの便宜を図るため、ピアザ淡海1階で、
パスポート申請用の写真撮影を行っています。どうぞ、ご利用下さい。

会員情報

・学生会員	1口年額	1,000円
・個人会員	1口年額	2,000円
・団体会員	1口年額	10,000円

[現在の会員数] 2020年2月29日現在

・個人会員/296人 ・団体会員/95団体

[新規入会] 2019年11月1日~2020年2月29日

・個人/3人

ご入会
ありがとうございました

SIA メンバーズ

Shiga Intercultural Association
for Globalization Members

2020 SPRING

SIAメンバーズ各店より滋賀県国際協会会員の皆さんに会員相互の交流を目指して会員特典を提供いただいております。特典利用の際は会員証を提示してください。

お店コーナー

神原税理士事務所

日々の帳簿処理、会計や税金について、できるかぎり、お客様の立場でわかりやすくサポートします。とくに海外勤務や英文経理の経験がある税理士が、日本語が苦手な外国人事業者の確定申告や中小外資法人の会計税務にも対応します。

会員特典:相談料無料(何でも気軽にご相談ください)

住所:草津市南草津2丁目3-9

コミュニティ南草津ビルⅢ3F-B
(南草津駅西口より徒歩5分)

電話:077-599-3480
(電話受付可)

URL:<http://www.kambara-office.com>

営業時間:9:00~17:00

定休日:土・日・祝



中華料理 オーパスワン



★春のおすすめコース

お一人様 3,500円

(※ご予約は2名様~前日までにご予約下さい)

★飲み放題コース

お一人様 5,000円~

★その他、ご予約に合わせてご用意させていただきます。

★歓送迎会ご利用くださいませ!

会員特典:会員証提示でソフトドリンク1杯サービス

住所:野洲市市三宅2531 アルテールななのい1階

電話&FAX:077-586-6028

営業時間:ランチ 11:00~14:00
ディナー 17:00~22:00

(ラストオーダー21:30)

JR野洲駅徒歩5分 駐車場完備
定休日:水曜日と第1・第3木曜日



TOKI-DOKI-PERU ペルー雑貨の店

ペルーのカラフルな織物を使ったペンケースやペットボトルケースなどをはじめ、アルパカのセーターやショールなどが人気です。また、マチュピチュやナスカ、マンコラのTシャツなどもあります。気軽に見に来て下さい。お誕生日や記念日のプレゼント、また、趣味の雑貨として利用して下さい。



会員特典

ペルー料理の紹介や試食、購入された方にはペルーの民族人形のボールペンをプレゼントします。ペルー旅行を考えておられる方には、見所や日程などのサポートをします。

住所:近江八幡市上田町183-48

電話:090-5126-4636

E-mail:asukar2015@zc.ztv.ne.jp

営業時間:10:00~21:00

(電話を入れて下されば、時間外でもお店を開けます。)

定休日:月曜日



屋外広告 ネクスト



屋外広告看板(ロードサイン)の企画提案、製作、取付設置工事、保守メンテナンス等クオリティの高い広告宣伝のお手伝いをいたします。

ロードサインにより、誘導、商圈拡大、ブランド化、最大限効果が発揮できるようにご提案いたします。またお客様のニーズにお応えして調査及び開発も致します。ご希望のエリア内、こちらからエリアのご提案も致します。

会員特典:初回化粧料10%割引

住所:高島市今津町名小路1-6-9

電話:0740-22-3131

営業時間:9:00~18:00

定休日:日曜、祝日



西洋料理 ロジェ・ソバージュ

おかげ様でオープン21周年を無事迎えることができました。厚く、お礼を申し上げます。日頃の感謝を込めて、ご来店をお待ちしております。



<記念フルコース> ¥1,500(税別)

- ・本日のオードブル盛り合わせ
- ・本日のスープ・パン
- ・真鯛のロースト カフェドバリ風
- ・牛肉のトルストイ風・サラダ
- ・デザート・コーヒーまたは紅茶

会員特典:SIA会員様はジュース等ワンドリンク付き

他のサービスとの併用はできません。

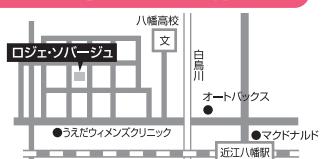
住所:近江八幡市堀上町99-12

電話:0748-36-8123

営業時間:ランチ 11:00~14:00

ディナー 17:00~21:00

定休日:不定休



Siam Erawan サヤームエラワン



「微笑みの国・タイ王国」に癒されてみませんか? サヤームエラワンでは、本場タイの味をそのままに、ランチ(火~土曜)とディナー(4名様以上の予約制)をお楽しみいただけます。料理教室やフルーツカービングなどのタイカルチャー教室は予約制にて。タイを感じていたける企画満載のお店です。お問い合わせはサヤームエラワン(塚本)まで。LINEのIDは@siamerawanで探してみてくださいね。

会員特典:各種教室料金・飲食代10%OFF

住所:東近江市八日市町11-16

営業時間:ランチ 11:30~ 定休日:日・月曜日

電話:0748-22-0422 携帯:090-1131-9344

URL <https://www.siamerawan2558.com>

